



巻ワイヤー水平引込み付き起伏装置のインバータ定数設定変更のお知らせ

【対象機種】

- ・タートクレーン：OTS-140(ES, NH)、OTS-130HS
- ・パイロクレーン：OTA-950HN、OTA-600(H, HS, N)、OTA-450N、OTA-380HN、OTA-350(HN, HK)、OTA-300H、OTA-280HN、OTA-270HN、OTA-190(S, HN)、OTA-150(HN, H, S)

【対象条件】

- 1、水平引込み搭載機種
- 2、起伏の速度制御方式がインバータ制御で安川クレーンソフト搭載機

【経緯】

先般、OTS-140ES タートクレーン落成検査中、3.5m 付近で過荷重 12.5t を吊上げジブ伏せ操作時に、起伏ドラムが起し側に回転する事象が発生しました。これは水平引込み搭載機の場合、最短半径側で過荷重試験を行うと巻ワイヤー張力が過大となり伏せ起動時のトルクを上回り発生したもので、今回は初のケースとなります。過荷重試験をジブ根元側で行うケースは稀な状況ですが、伏せ側のインバータ定数を起し側と同じ値に変更し再発防止を図りたく、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

